

輸出事業計画

申請者名：スターゼンミートコンソーシアム、品目：牛肉

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 牛肉販路拡大のために構成員が一体となって鹿児島県畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業等に取り組み、輸出先国の要件への対応、商品価値の向上、新規顧客の開拓を実施してきた。
- 国ごとに輸入規制が設けられており、それぞれの規制への対応が求められている。
- 日本産和牛の海外市場において、輸出量は伸び続けており、今後も期待ができる。

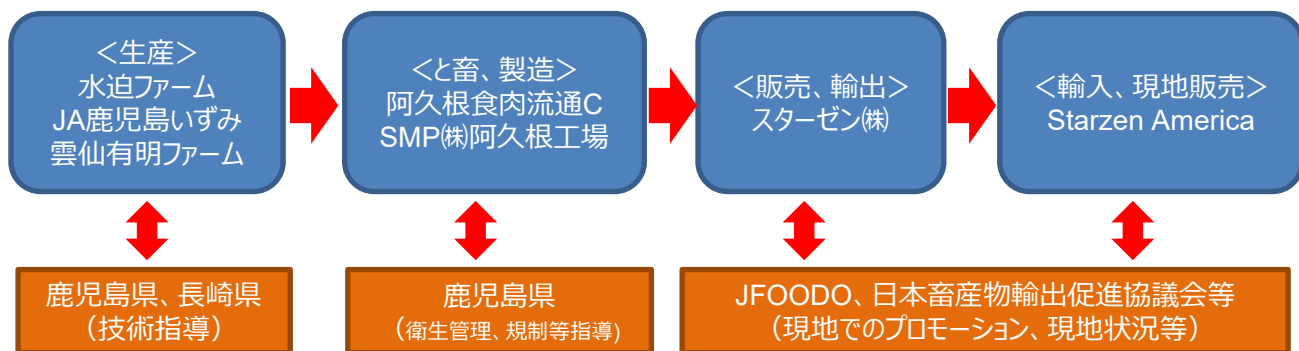
【課題】

- 生産：動物福祉対応に伴い、出荷時に頭絡を装着する必要性が生じるが、鹿児島県では現在鼻環装着が主流であるため、頭絡での出荷時に鼻環よりも牛の誘導が弱く作業効率の低下が懸念される。
- 販売：日本産和牛の海外市場において、国内他産地との競争が激化している。ロイン系の人気が大きいが、それ以外の部位の拡販が課題。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 生産：生産者に対して出荷時に頭絡の装着について要請を継続するとともに、米国・EU向け出荷農場担当者とともに国内の頭絡を使用している農場を視察し優良事例を学び、頭絡の装着率を上げる。また、頭絡使用時の牛の誘導についての技術講習会を行うことで農場に対する指導に取り組み、アニマルウェルフェアの要件を満たすとともに作業効率を上げる。
- 販売：新規開拓、特に安定した取引を確保するためには、信頼関係や関係性の構築が重要であるため、現地展示会への出展やカッティングセミナー、得意先の日本への招聘等を継続して実施し、取引先と関係性を深める。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

申請者名：スターゼンミートコンソーシアム、品目：牛肉

4. 輸出目標額

		現状 (令和6年) (令和6年1月～ 令和6年12月)	目標年 (令和8年) (令和8年1月～ 令和8年12月)	備考
(株)阿久根食肉流通センターを中心とした産地 (鹿児島県阿久根市・ 指宿市)	輸出額(千円)	6,683,859	10,882,940	
	輸出量 (kg)	966,307	1,573,148	
	輸出先国	米国、E U、香港、 台湾	米国、E U、香港、 台湾	